

せせらぎ 3月号

～新生活に向けて準備の季節～

お返し忘れの資料はございませんか？

新学期、進学、転勤などなど、3月は新生活に向けての準備の月。部屋を片付けていたら図書館の本が出てきた！ということがあるかもしれません。夏休みの宿題で借りっぱなし…、資格の勉強がしたくて借りた本…、課題の参考資料…などなど。

「もうだいぶ時間が経ってしまったし、いいでしょ」と思わずに図書館へご返却ください。

余談ですが…

海外の図書館では「52年ぶりに図書館へ返却」「母親が78年前に借りた本を娘が返却」「当時11歳の少女が借りた本を84年ぶりに息子が図書館へ返却」など超超超長期延滞のニュースがたびたびあります。そうなる前にご返却ください。



図書館の本が出てきた…



1月の映画会の振替

「アンを探して」

上映時間 105分
3月27日(土) 午後2時～
中央図書館 視聴覚室

「赤毛のアン」が大好きだった祖母を亡くし、悲しい面持ちでカナダのプリンス・エドワード島に一人降り立った17歳の少女・杏里。島の灯台を訪ね歩く杏里には、祖母の初恋の人を捜し出すという目的があった。

※映画会に参加する前にご確認ください※

- **事前申込制(先着順・定員25名)**となります。
中央図書館カウンターまたはお電話でお申し込みください。
- 換気のため、会場の入口や窓の一部を開放します。通常より画面が見つづらくなる場合があります。
- ご鑑賞の際は必ずマスクを着用し、入退館の前に手洗いや手指消毒を行ってください。
- 発熱や咳・のどの痛みなどの症状がみられる方のご参加は、固くお断りいたします。
- **感染症の発生状況により、中止となる場合があります。予めご了承ください。**



五節供

節供とはもともとは節の日にそなえる食物や行事のことでした。節の日には神祭りのあとに人びとが集まって食事をする機会でもあったため、「区切りの日」という認識が生まれました。だんだん「せっく」には区切りを意味する「節句」という字があてられるようになっていきます。江戸時代になると「五節供」が定められました。節供の行事は中国の考え方に日本の宮中行事が合わさったもので、奇数のゾロ目の日が多いのも中国の考え方に由来しています。ちなみに、1月1日はゾロ目ですが、元旦のため別格として1月7日を節供としたそうです。

人日の節句（1月7日）

七草粥

春に芽吹いた野の草の力を分けてもらうことでその年1年間健康に暮らせると言われています。

重陽の節句（9月9日）

別名 菊の節句

菊酒や「被せ綿」という菊を用いた行事で不老長寿を願います。新暦では菊の盛りとずれてしまい廃れ気味に…

上巳の節句（3月3日）

ひなまつり

女の子の健康や成長を願って雛人形や桃の花を飾ります。平安時代ではおままごとに雛人形が使われていました。

七夕の節句（7月7日）

七夕

さまざまな風習が混ざり合っている行事。笹に短冊や飾りをつるして習い事の上達を願います。

端午の節句（5月5日）

こどもの日

男児の節句とされてきましたが今は子どもの成長を祈る行事。立身出世を連想させる鯉のぼりを飾ります。

今月はひなまつり



■参考

『年中行事の民俗学』谷口 貢/編著 八千代出版

『日本の心を伝える年中行事事典』野本 寛一/編 岩崎書店

一般社団法人 日本の節句文化を継承する会 (<http://go-sekku.org/>)

ご来館の前に最新の開館情報をご確認ください。

図書館 Twitter



図書館ホームページ



図書館の情報は

こちらから▶

筑西市立中央図書館

〒308-0826 茨城県筑西市下岡崎 1-11-1

Tel : 0296-24-3530

3月の休館日：1日、8日、15日、22日、29日

（すべて月曜日）